

与那原駅舎新聞

「夏休みは駅舎に行こう！」

夏休みイベント開催！

夏休みイベント「夏休みは駅舎に行こう！」を8月15日(金)、16日(土)の2日間の日程で開催しました。

館内で実施した工作ワークショップ「夏休み工作大作戦」では、「ステンドグラス風カード」「牛乳パックきかんしゃ」「駅員さんの制服」の3種類から選べるようにしました。10時から受付開始しましたが、3種同時に実施したためか、

待ち時間が発生するほどの参加者がいました。

一方の駅前広場では「駅前マルクト」を開催。Numbe r 13(コーヒー)、Tummy(ハンバーガー)、AGARI HAMABREWERY(ビール)、よなばるネコの会(バザー)、館内には波止場書房(古本)が出店しました。また、恒例のオリジナル缶バッチくじなども実施。金曜・



2025

10

月号

【発行所】

軽便 与那原駅舎展示資料館
与那原町字与那原 3148-1
TEL 098-835-8888

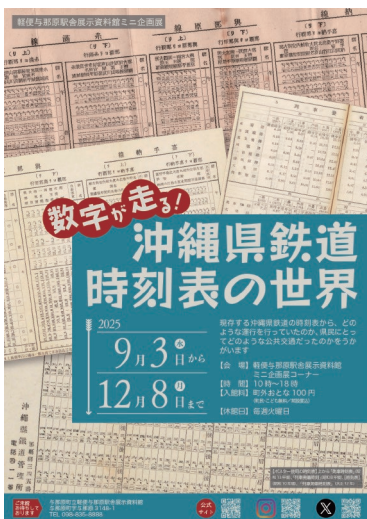
【発行人】

株式会社 YUKAZE (指定管理者)

土曜という変則的な開催でしたが、ありがたいことに2日間で200人弱の来館がありました。

ミニ企画展開催中

9月3日(水)よりミニ企画展「数字が走る！沖縄県鉄道時刻表の世界」を開催しております。時刻表とは縁遠いような沖縄ですが、かつての沖縄県鉄道も時刻表を出していました。時刻表を観察すると多様な運行の状況、そして鉄道を利用していた県民の姿が目に浮かぶようです。小さな展示会ですが、複数の時刻表を展示します。で、ぜひ時刻表の世界を覗いてみてください。



駅舎コラム⑧

踏切と跨線橋

県外で街を歩いていると「踏切(ふみきり)」や「跨線橋(こせんきょう)」に出くわすことがあります。踏切は鉄道の線路と道路が平面で交差する場所で、戦前の沖縄には多くの踏切がありました。当時の資料を見ると「農道踏切」や「県道踏切」などの踏切がみえます。とはいえ、現代のような機械の遮断器があるわけではなく、レールで転ばないように

舗装されている程度だったようです。ただし通行量の多い踏切には「踏切看手」という職員が配置され、列車通過時の安全確保に努めました。

ほかには線路を上から渡る跨線橋もあります。与那原にもあって、現在の国道からクララ教会を左手に役場へ向かう道にあり、「大里跨線人道橋」という名前もありました。この付近の線路は谷になっており、道路より線路のほうが低かったため跨線橋が選ばれたでしょう。(学芸員K)

リーフレット刷新

当館は去年度に展示を刷新しましたが、リーフレット掲載の写真は旧展示だったため、このたび最新情報に更新しました。デザインも変更し、正面には青空に映える駅舎の写真を採用。立てて配架されても文字が読めるよう上部に施設名を配置するなど工夫も。どこかで見かけたら、ぜひ手にとってご覧ください。

駅舎文庫設置

資料館の一角に町立図書館の協力で鉄道本が読めるコーナーを設置しています。ぜひご利用ください。



与那原町立 軽便 与那原駅舎 展示資料館

戦前の沖縄にあった沖縄県鉄道(沖縄県営鉄道/軽便鉄道)。その与那原駅の駅舎を2014年度に復元しました。沖縄県鉄道の歴史や鉄道関係資料を展示する小さな鉄道資料館です。

開館時間 10:00 ▶ 18:00
休館日 火曜日、12/29-1/3
入館料 ¥100 (町外)

【入館料無料】町内在住・通勤通学/小学生以下/「障害者手帳」をお持ちの方とその介助者/まち歩きガイドの一行/学習を目的とした団体の講師

公式サイト、SNS
<https://www.yonabaruekisha.com/>



@yonabaru_station



@keibin_yonabaru